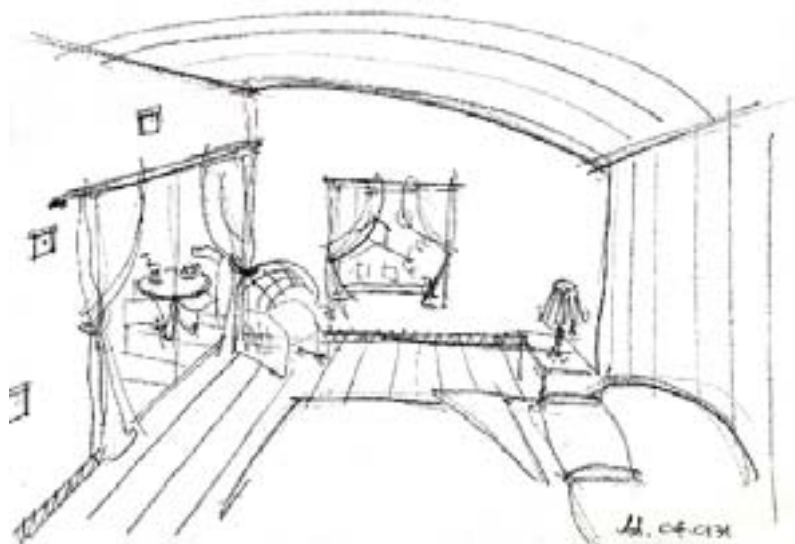
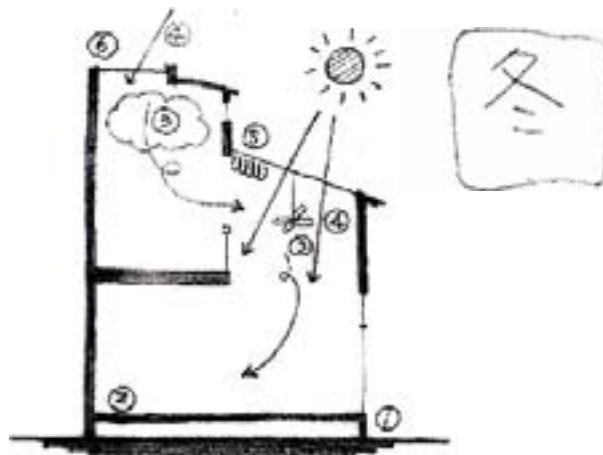


寝室 & 個室

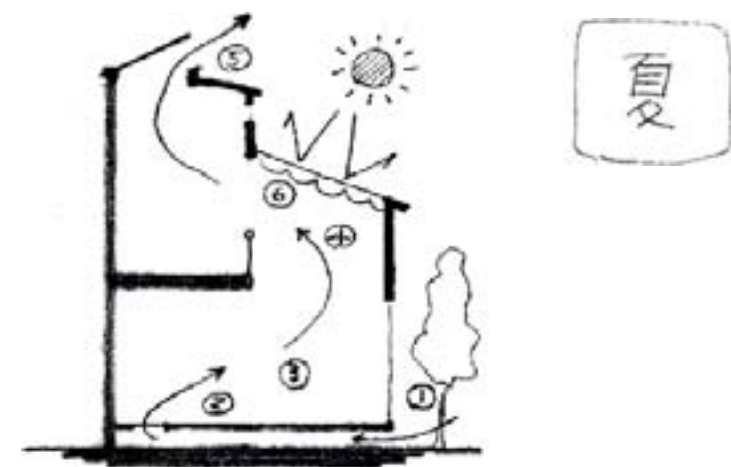
寝室は個室として捉えました。階段や吹き抜けを中心として建物のコーナー毎に4つ、バランスよく配置しています。どの部屋もバルコニー（一部共有）を持ち、外部に出られる構成です。各部屋にはクローゼットを設置するとともに、共有部分にもウォークインクローゼットを設け、衣類などの収納に配慮しています。



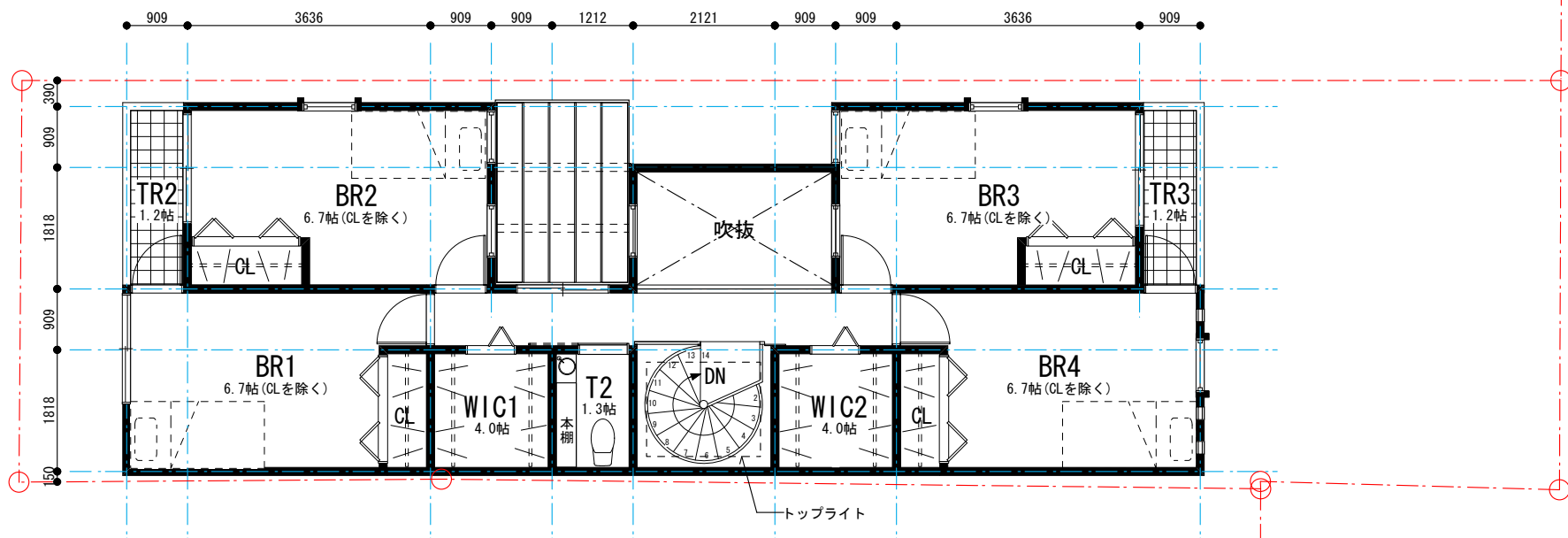
パッシブベンチレーションの考え方



- ① 床下通気口を床のめ、冷たい空気をシフト!!
- ② 床面の暖気口として、熱を床下へ逃がさない
- ③ 天井ファンで上方へ暖かい空気を下へ送り出す。
- ④ 太陽の光をできるだけ取り入れる
- ⑤ シェードは日中のみ ⑥ 天窓は南側のみ

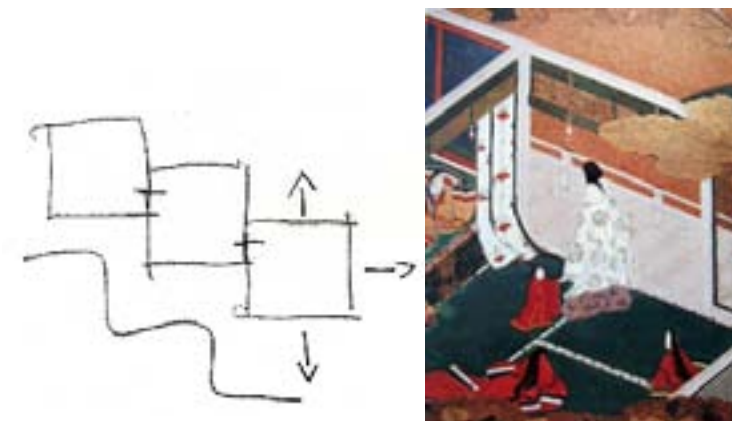


- ① 涼みのある木かげの涼しい空気を中庭から取り入れる
- ② 夏でも日があたらないコンクリートはついでにしている(熱を蓄)
- ③ 床を通し、空気をフローリングを(涼しい)冷やします。(床暖房のときは断熱は2層のじょとムツカシイ!!)
- ④ 夏の間取りと軒高の位置で工夫すれば、家全体の熱気も逃げやすい
- ⑤ 熱気を下へ送るためにOPEN ①の冷気は位置の高さを十分とれば、換気量も十分
- ⑥ 夏の強い日差しをシェードでカット!!



空間構成の概念

部屋の配置は日本の伝統建築形式より「書院造」のシステムを引用しています。図のように雁行しながら部屋を並べていくことによって、空間全体に変化が付き、様々なコーナースペースを生み出すことが可能です。またそれぞれの部屋が3面以上の採光面と眺望を得ることができます。



2階平面図

床面積 : 68.6 m² (20.8坪)
吹抜 : 5.4 m² (1.6坪)

